

【令和7年度大鰐町一般会計当初予算（案）の概要】

令和7年2月

予算総額：6,026 百万円（△52 百万円、0.9%減）

＜うち一般財源 4,145 百万円（△17 百万円、0.4%減）＞

※（ ）内は、前年度当初予算との比較である。以下同じ。

令和7年度の当初予算は、「第6次振興計画」の3年目となることから、計画に位置付けられる主要施策の着実な推進、また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく人口減少克服・地方創生に向けた取組みに重点を置いた予算編成とした。

第1 歳入

- ・繰入金については、公共施設等整備基金及びスポーツ振興基金繰入金の減等により、81 百万円の減となった。
- ・諸収入については、デジタル基盤改革支援補助金や新型コロナウイルスワクチン接種費用助成金の増等により、0.2 百万円の増となった。
- ・地方交付税については、給与改定等への対応など単位費用の見直しによる普通交付税の増等により、29 百万円の増となった。
- ・国庫支出金については、エネルギー・食料品等物価高騰の影響を受けた生活者等への支援を図るための物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増等により、9 百万円の増となった。
- ・町債については、中央公民館耐震改修事業債の減等により、73 百万円の減となった。

1 自主財源：1,247 百万円〔構成比 20.6%〕（△75 百万円、5.7%減）

- (1) 町税：619 百万円（△5 百万円、0.8%減）
- (2) 繰入金：241 百万円（△81 百万円、25.1%減）
- (3) 諸収入：310 百万円（0.2 百万円、0.1%増）

2 依存財源：4,779 百万円〔構成比 79.4%〕（23 百万円、0.5%増）

- (1) 地方消費税交付金：209 百万円（16 百万円、8.3%増）
- (2) 地方交付税：3,037 百万円（29 百万円、1.0%増）
- (3) 国庫支出金：639 百万円（9 百万円、1.4%増）
- (4) 県支出金：389 百万円（39 百万円、11.2%増）
- (5) 町債：401 百万円（△73 百万円、15.3%減）

第2 歳出

- ・人件費については、給与改定により、90 百万円の増となった。
- ・公債費については、長期債償還金の減により、18 百万円の減となった。
- ・物件費については、自治体システム標準化対応やふるさと納税収納代行業務に係る委託料の増等により、9 百万円の増となった。
- ・補助費等については、弘前地区消防事務組合負担金の減や弘前地区環境整備事務組合負担金の減、下水道事業の補助金の減等により、33 百万円の減となった。
- ・繰出金については、診療所事業特別会計繰出金等が減となったことから、43 百万円の減となった。
- ・普通建設事業費については、診療所整備事業に係る外構工事費や中央公民館耐震改修工事費の減等により、42 百万円の減となった。

1 義務的経費：2,224 百万円〔構成比 36.8%〕（40 百万円、1.8%増）

- (1) 人件費：904 百万円（90 百万円、11.0%増）
- (2) 扶助費：720 百万円（△33 百万円、4.3%減）
- (3) 公債費：600 百万円（△18 百万円、2.9%減）

2 投資的経費：771 百万円〔構成比 12.9%〕（△42 百万円、5.1%減）

- (1) 普通建設事業費：767 百万円（△42 百万円、5.2%減）

3 その他の経費：3,021 百万円〔構成比 50.1%〕（△50 百万円、1.6%減）

- (1) 物件費：876 百万円（9 百万円、1.0%増）
- (2) 維持補修費：169 百万円（7 百万円、4.6%増）
- (3) 補助費等：945 百万円（△33 百万円、3.3%減）
- (4) 積立金：113 百万円（9 百万円、9.1%増）
- (5) 繰出金：917 百万円（△43 百万円、4.5%減）

※ 詳細は、別紙『各課予算計上の主なるもの（細部説明資料）』参照